

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の 成功のためには皆さんの協力が必要です 東京圏の**混雑緩和**にご協力下さい

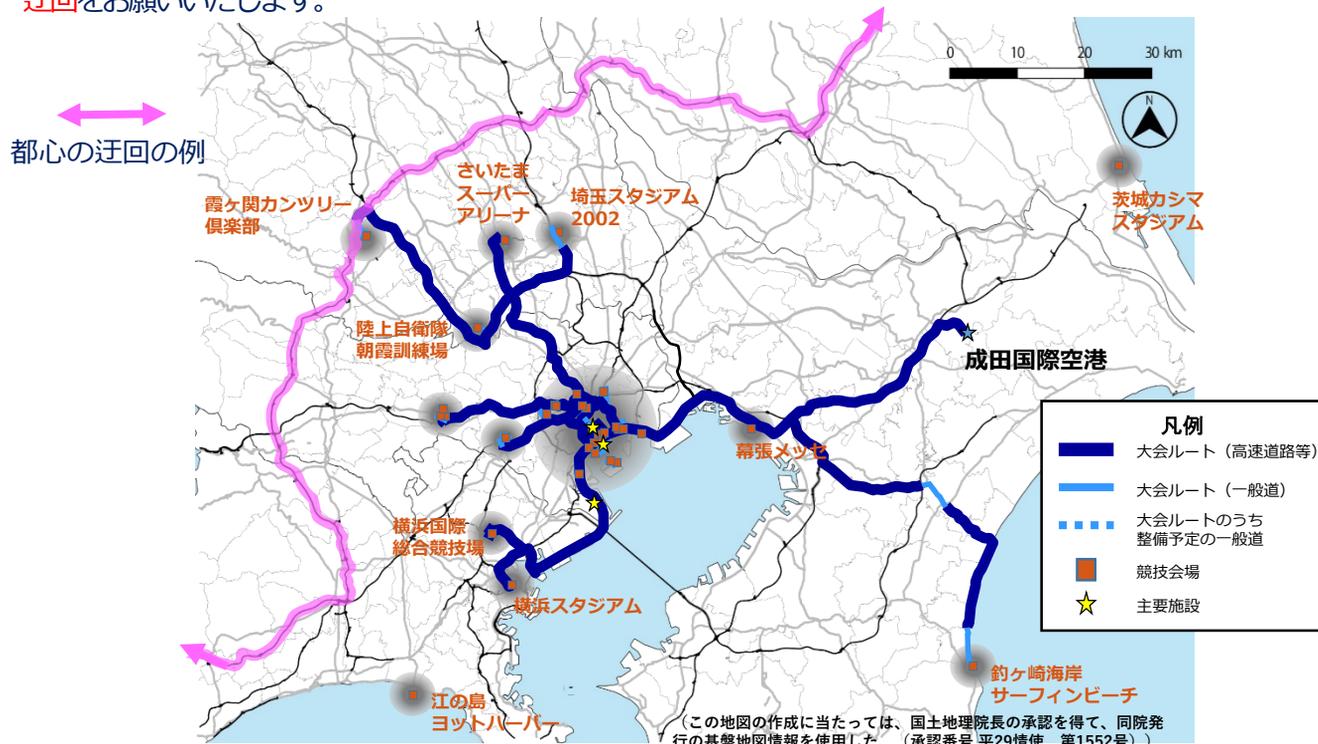


©Tokyo 2020

約1,300万人が暮らす東京を中心に、延べ1,000万人以上が訪れ、1日あたり、首都高の車が約7万台増加・最大約80万人の観客等が鉄道を利用します。

1 都心の通過はお控えください

東京2020大会期間中には、一般交通に大会関係車両が加わることで、何も対策を行わなければ、首都高の渋滞は現況の2倍近くになる見通しです。東京圏では、首都高を中心に、大会関係者が通る大会ルートが設定されています。大会関係者の円滑な輸送のため、首都高や都心に向かう**一般道の使用を控え**、**圏央道などへの迂回**をお願いいたします。



こんな方は、ぜひ迂回をご検討ください。

- ◆ 発着地が東京圏にはなく、東京圏を通過される方（例：北関東⇔名古屋・大阪ルート）
- ◆ 発着地が外環と圏央道の間にある方

2 東京圏に配達する荷物は夜間（22時～6時）に

東京圏に発着する荷物の配達時間について、大会による影響が少ない夜間（22時～6時）へのシフトをお願いいたします。

※詳しくはウェブサイトへ

📞2020TDM推進プロジェクト <https://2020tdm.tokyo>



東京2020大会の主な交通対策

交通規制など

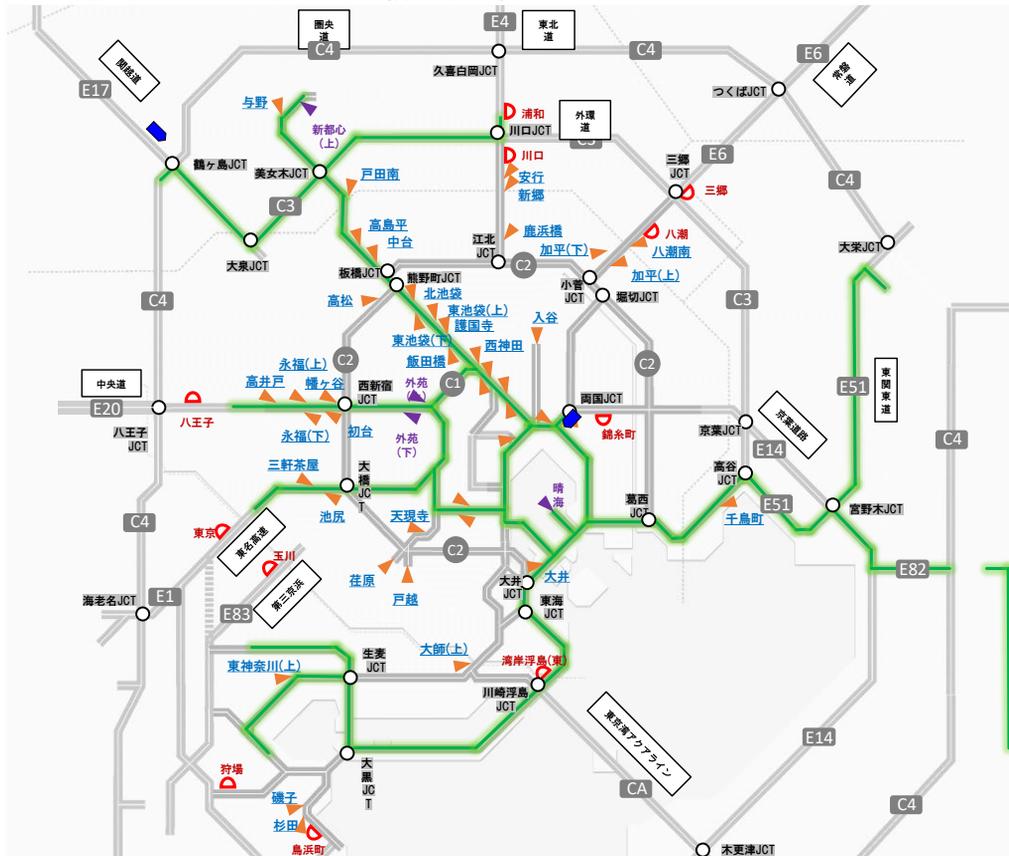
▼会場周辺交通対策はこちら



- ① 高速道路：本線料金所におけるブース制限や入口閉鎖等
- ② 一般道：大会関係者専用レーン・優先レーンの設置、信号調整、会場周辺での車両通行禁止等

(参考) 夏の試行時 (2019年7月26日) における交通規制

夏の試行時には、下図のとおり首都高を中心に入口閉鎖など大規模な交通規制が実施されました。大会期間中の交通量削減へのご協力をお願いします。



【凡例】 — ORN (大会ルート) ▲ 本線料金所 (ブース制限) ▲ 終日閉鎖入口 ▲ 閉鎖入口 ■ 本線車線規制

- ※ 大会期間中の交通対策の実施内容は、上記の図と異なることがあります。
- ※ 渋滞の悪化が見込まれる際には、入口閉鎖箇所の追加、本線車線規制、区間通行止め等を行う場合があります。

首都高の料金施策について

夜間の料金割引及び都内区間におけるマイカー等の日中時間帯の料金上乗せを実施します。

適用期間：7月20日(月)～8月10日(祝) 8月25日(火)～9月6日(日)

	時間帯	料金	対象
夜間割引	0時～4時	5割引	ETC搭載車
料金上乗せ	6時～22時	1,000円 上乗せ	マイカー等※

※ 事業用車両、物流車両等は料金上乗せ対象外です。
障がい者、福祉車両は事前申請すると料金上乗せ対象外となります。
(東京都への申請が必要です。)

料金施策の詳細は、[首都高のHP等](#)でご確認ください。

2020 首都高

検索

東京2020公式ウェブサイト

<https://tokyo2020.org/jp/games/transportation/>



2020TDM推進プロジェクト

<https://2020tdm.tokyo>

